

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2026年 1月 15日		～ 2026年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 30日		～ 2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自由時間以外に小集団の活動を設けて苦手なことを克服するための活動を行ったり集団活動の時間ではサーキットをしたり生活スキルトレーニングを行っている	流行の物を取り入れたイベントや集団活動を企画していること、ボードゲームを通じてルールの理解や順番の大切さにもアプローチしています	一人一人に合ったニーズの活動の作成
2	保護者や利用者からの意見を取り入れたイベントの作成システムを導入して保護者とのやり取りの幅を増やしコミュニケーションをより取りやすい環境作りを行っている	保護者も交えて調理のイベントやハイキング、音楽鑑賞の活動を行うことで保護者と話す機会を増やしている 乗車体験や買い物体験を企画してお金の大切さを学ぶ機会を設けている	イベントの事前準備や活動で使用する遊具や調理道具の点検 マンネリ化しないようなイベントの作成
3	様々な運動経験のあるスタッフがいる	身体を動かすことの楽しさを伝えられるようにプロジェクターを使ってダンスやストレッチの活動や運動施設に行きフットサルや野球の活動をしています	支援員のスキルアップ 運動用具の点検 利用者がより楽しめるような活動の情報収集

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域のイベントや福祉施設との交流の機会が少ない	施設を知ってもらうためのアピールが足りない 地域との交流イベントの経験不足 安全面への不安	イベントの事前の情報収集や活動を行う場所の確認 施設内の支援だけではなく地域交流への重要性を考えていく 学校や地域の住民を含めた連携を深めていく
2	施設の部屋数が多く死角になる場所がある	部屋数が多いことで落ち着きスペースの確保はできている	職員の配置が適切かの確認が大切
3			